

まちづくりニュース 第3号

第3回 後楽二丁目北・北西地区しゃれ街等検討会を 書面開催いたしました

第3回検討会は、新型コロナウイルス感染症の拡大の状況を鑑み、書面開催とさせていただきます。本検討会では、第1回・第2回検討会でのご意見を踏まえ、今年度のまとめとして〈まちづくりの方向性〉を取りまとめました。

委員の方々には、説明資料や説明動画をご覧いただいた上でご意見を頂きました。

① 各テーマでの議論のまとめ

テーマごとに振り返りを行い、以下のように今年度の議論を取りまとめました。

「第1回・第2回検討会での議論のまとめ」

(1) 地区に必要な機能（用途）

- ・ 地区内に住んでいる人や近隣の人が中心となるまち、といった意見を多くいただきました。
- ・ オフィスワーカーや周辺との連携に配慮することについて前向きな意見もいただきましたが、どのような用途が中心のまちにするかも含め、より具体的な将来像が求められます。



参考：「後楽二丁目地区まちづくり整備指針」より抜粋

(2) 歩行者・自動車ネットワーク

- ・ 緊急車両が通行でき、通り抜け車両などによる危険のない道路とするべき、とのご意見を多くいただきました。また、歩行者空間が重要とのご意見も多くありました。
- ・ 道路の幅員や形状については、将来の用途や外周道路とのネットワークによるとのご意見が多かったため、具体的な将来像と合わせた検討が求められます。



参考：「後楽二丁目地区まちづくり整備指針」より抜粋

(3) 広場・防災

- ・ 芝生などの空間が地域の憩いの場となり、災害時には防災拠点となる広場が必要、とのご意見を多くいただきました。また、防災設備が必要とのご意見も多くありました。
- ・ 一方で規模や管理へのご意見も多くあり、具体的な将来像と合わせた検討が求められます。



参考：「後楽二丁目地区まちづくり整備指針」より抜粋

② 後楽二丁目北・北西地区のまちづくりの方向性

①を踏まえ、以下のように、後楽二丁目北・北西地区における〈まちづくりの方向性〉を取りまとめました。

「後楽二丁目北・北西地区のまちづくりの方向性」

【地区に必要な機能（用途）の方向性】

- 地域の中で快適に住み続けられるまちを目指し、多世代に対応した生活支援施設や魅力ある店舗などを誘導する。
- 駅や後楽園周辺との交流や賑わい空間については、具体の将来像と合わせて継続検討する。

【歩行者・自動車ネットワークの方向性】

- 緊急車両が通行でき、地区内交通を安全かつ円滑に処理できる道路ネットワークを形成する。
- 車両の速度抑制などを検討し、安全で快適な歩行者空間を確保する。
- 道路の規模や形状については、具体の将来像に見合ったものとなるよう、継続検討する。

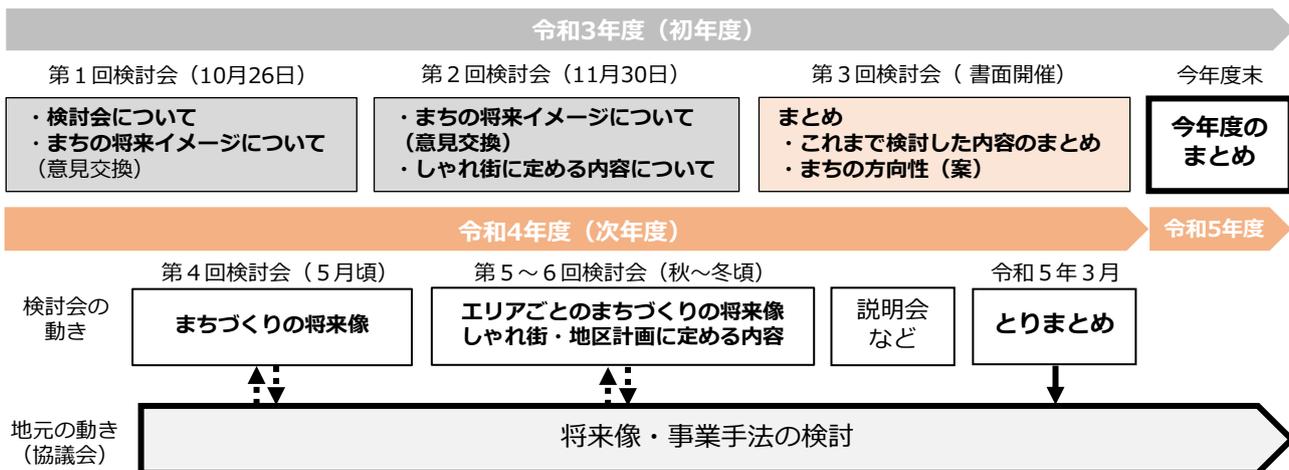
【広場・防災の方向性】

- 芝生などの緑があり、平常時には子供の遊び場など住民の憩いの場となり、災害時には災害対応が可能な広場を確保する。
- 様々な災害に対応した防災設備を導入する。
- 適切な規模・形状や維持・管理形態となるよう、具体の将来像と合わせて継続検討する。

上記の方向性のほか、脱炭素社会やアフターコロナのまちづくりなど、様々な社会動向等を踏まえ、検討を進めてまいります。

● 今後の進め方（一部見直し案）

皆さんからのご意見や協議の状況を踏まえ、進め方を一部見直しました。今後は、地元（後楽二丁目北・北西地区まちづくり協議会）での話し合いとも連携しながら、エリア分けも含めた具体的なまちづくりの将来像を検討していきます。



【お問い合わせ】

〒112-8555 東京都文京区春日一丁目16番21号
文京区都市計画部地域整備課まちづくり担当 川合、長谷川、岡田
Tel : 03-5803-1848（直通）平日午前8時30分から午後5時まで
Mail : b402400@city.bunkyo.lg.jp